

HEADLINE

●【速報】第2次図書贈呈団が全員元気に帰国しました。

★【速報】第2次図書贈呈団が全員元気に帰国しました。

—モンゴル オブス県マルチン郡の小中学校の子どもたちに図書を贈呈—

6月5日（火）、モンゴルを訪問していた第2次図書贈呈団が帰国しました。6名全員が少し疲れた顔をしながらも、それぞれの思いを胸に元気な姿を見せてくれました。

大野団長のメッセージ

今回は、ウランバートルから北へ約170km離れたエルデネットという街のエネレル子どもセンターへの訪問と、前回に引き続きオブス県マルチン郡への図書贈呈を行ってきました。マルチン郡への図書贈呈では、組合員のみなさんのご協力により集められた資金を元に約130冊の図書や血圧計などの医療器具、バレーボールなどのスポーツ用品を贈呈することができました。第1次のメンバーが贈呈した図書はマルチン郡の図書館と小中学校の図書室で貸し出され多くのみなさんに読まれていることから、今回の図書贈呈に対してもみなさんに大変喜んでいただきました。また今回は、初めての企画として組合員のみなさんの子どもたちの描いた絵の展示を行い、こちらは展示の準備をしている途中から子どもや大人も集まって黒山の人だかりとなり大盛況となりました。これら40数点の絵は、マルチン郡だけではなくオブス県にある近隣の郡の方たちにも見せたいとの申し入れもあり寄贈することとなりました。当日は雨模様でしたが、乾燥地であるモンゴルでは雨の日の訪問者は恵みをもたらす幸福の使者として考えられていることもあり、約300名の方々に集まっていただく大歓迎を受けました。組合員のみなさんのご支援の気持ちを、確かにモンゴルまで届けることができましたと思います。ご支援、ご協力をありがとうございました。

—第2次贈呈団の日程—

- 5/28 日本発→モンゴル・ウランバートル着
- 5/29 ウランバートル→エルデネット  
エネレル子どもセンターを訪問
- 5/30 エルデネット→ウランバートル
- 5/31 ウランバートル→オブス県マルチン郡
- 6/1～2 図書贈呈及び絵画展、他交流
- 6/3～4 オブス県→ウランバートル
- 6/5 ウランバートル→関空



▲大盛況となった子どもの絵画展



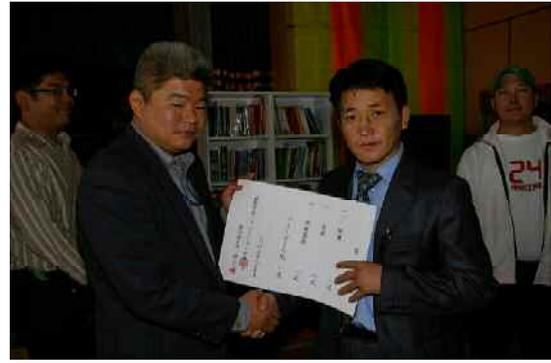
▲贈呈式には300名の皆さんが集まって下さいました。



▲今回、贈呈した130冊の図書と医療器具など



▲大野団長によるモンゴル語での挨拶



▲マルチン郡のツェンデスレン郡長に目録を手渡す



▲季節はずれの大雪となったマルチン郡



▲ツェンデスレン郡長より贈られた感謝状と記念品

今回のエネレル子どもセンターへの訪問と、オブス県マルチン郡への図書贈呈を通じて参加したメンバーからは、それぞれ次の通りの感想が聞かれました。

- 黒岡 . . . . . 会う人全員が私たちが歓迎し集まってきてくれました。その大人も子供も、一人ひとりの笑顔が最高のプレゼントだと感じました。
- 角尾 . . . . . 現地で直接交流することの大切さを身をもって感じました。また、会う人みんなの笑顔が印象的で、改めて笑顔のすばらしさを感じました。参加して本当に良かったと思います。
- 岡田 . . . . . 大自然に感動しました。また、スポーツ交流では、日本にはない仲間意識をすごく感じました。モンゴルの人たちは積極的です。
- 永野 . . . . . 遠近感を失ってしまうぐらい、360度何も見えない広大な平原が印象的でした。また、言葉が通じなくても身振り手振りで十分に気持ちは伝わるものだと感じました。
- 坂本 . . . . . 訪ねる先々で大歓迎を受けました。その中で、羊肉を中心とした食生活や遊牧といった文化の違いが印象的でした。滅多にできない貴重な体験だったと思います。

詳細は、後日発行予定の要録集をご覧ください。



▲マルチン郡に向かう途中、大草原で